



こども環境学会・(社)日本建築学会 共催

特別シンポジウム「いじめと環境」

昨年末、いじめとその原因による自殺が、新聞やテレビに大きく取り上げられました。いじめの主原因はこども達の人間関係にあるのですが、その人間関係を作り出す空間も大きく関係しているのではないかと思います。文部科学省や教育再生会議の議論とは異なる視点からこども達の「いじめ」について考え、総合的な視点に立って議論し、こどもの成育環境全体の問題としてとらえたいと思います。こどもたちのいじめをなくすような環境づくりの提案を目指します。

2007年2月
こども環境学会 会長 仙田満

主 催：^記 こども環境学会、(社)日本建築学会

後 援： 日本学術会議、日本環境教育学会、日本建築家協会、日本子ども社会学会、日本児童青年精神医学会、日本小児保健協会、日本発達心理学会、日本保育学会、日本安全教育学会、NPO チャイルドライン支援センター（以上予定、順不同）

日 時： 2007年3月21日(水・祝) 午後1時30分～5時

場 所： 建築会館ホール(200名)

〒108-8414 東京都港区芝5丁目2番20号 / TEL 03-3456-2051

JR 田町駅、都営地下鉄三田駅(浅草線・三田線) 徒歩3分

参加対象： こどものいじめ問題と子どもたちを取り巻く環境とその問題点に関心をお持ちのすべてのの方々にご参加いただけます。

参加費： 1,000円

パネラー：(予定者、50音順)

織田正昭(東京大学大学院医学系研究科・発達医科学、こども環境学会副会長)

喜多明人(早稲田大学教授・子どもの権利条約ネットワーク代表)

清川輝基(NPOチャイルドライン支援センター代表理事)

清水将之(関西国際大学教授・前日本児童青年精神医学会会長)

住田正樹(放送大学教授・日本子ども社会学会事務局長)

仙田 満(東京工業大学名誉教授・こども環境学会会長)

高橋 勝(横浜国立大学教授・教育学)

司 会：

木下勇(千葉大学教授・こどもの参画によるまちづくり)

小澤紀美子(東京学芸大学教授・日本環境教育学会会長)

指定討論者：(予定者、50音順)

井上美智子(近畿福祉大学・自然教育)

岸 裕司(秋津コミュニティ)

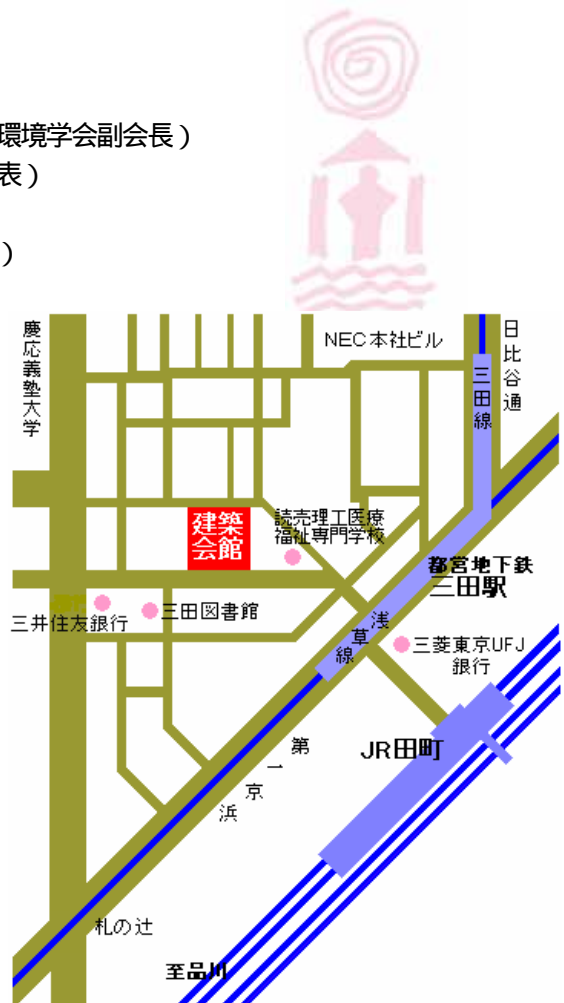
木村 歩美(幼児教育家・こども環境学会)

黒岩佐和子(こども環境学会)

中津秀之(関東学院大学・ランドスケープデザイン)

宮崎 稔(学校と地域の融合教育研究会)

宮本文人(東京工業大学教育環境創造センター)ほか





参加者の略歴 (予定者、50音順)

パネラー

織田 正昭 (こども環境学会副会長)

1975年東大(医)卒(母子保健学/感染免疫学)。東大医科研、国立感染症研でワクチンの研究。百日咳ワクチンを開発後、米国FDAにて感染症免疫の研究。WHO百日咳会議議長歴任。1993～東大大学院(医学)国際生物医科学講座教官。ダウン症の免疫学的研究でサンド老年医学賞。現在、米国微生物学会会員、ニューヨーク科学アカデミー会員のほか国内では小児保健・公衆衛生関係など所属学会多数。2004年こども環境学会設立とともに副会長。

著書:「Microbiology」「難病必携」「小児保健」「児童青年精神医学への挑戦」「高層マンション～子育ての危険」など

喜多 明人 (子どもの権利条約ネットワーク代表)

早稲田大学文学部教授。日本教育法学会事務局長(～2001年まで)同理事、同学校事故問題研究特別委員会委員長。日本教育政策学会理事。子どもの権利条約総合研究所代表。子どもの権利条約ネットワーク代表。日本子どもNPOセンター理事。NPOチャイルドライン支援センター理事。著書:「新時代の子どもの権利」「新世紀の子どもと学校」「学校災害ハンドブック」「活かそう!子どもの権利条約」「意見を言ってみても自分も変わる」「子どもにやさしいまちづくり」など

清川 輝基 (NPOチャイルドライン支援センター代表理事)

1964年東京大学教育学部教育行政科卒業。NHK入局、社会報道番組ディレクターとしてNHK特集「何が子どもを死に追いやるのか」(1979)などを制作。現在、NPOチャイルドライン支援センター代表理事、NPO子どもとメディア代表理事、日本子どもNPOセンター政策委員長、NHK放送文化研究所研究アドバイザー、日本小児科医会「子どもとメディア対策委員会」顧問、「子ども白書」編集委員、さくら国際高等学校校長。

清水 将之 (関西国際大学教授)

三重県立こども心療センターあすなる学園園長を経て、関西国際大学人間学部教授、日本子どもの未来研究所所長、三重県特別顧問。日本児童青年精神医学会会長・理事長、日本精神病理学会会長、日本青年期精神療法学会理事長、厚生省健やか親子21検討会委員、三重いのちの電話協会理事長などを歴任。

著書:「家庭内暴力」「青い鳥症候群」「思春期のこころ」「人間が生る条件」「子ども臨床」など

住田 正樹 (日本子ども社会学会事務局長)

教育学。九州大学大学院人間環境学研究科教授などを経て、現在放送大学教授、日本子ども社会学会事務局長。

著書:「子どもの仲間集団と地域社会」「子どもの仲間集団の研究」「子どもの発達と現代社会」「子どもたちの『居場所』と対人的世界の現在」など

仙田 満 (こども環境学会会長)

環境建築家。環境デザイン研究所会長。琉球大学、名古屋工業大学、東京工業大学教授を経て現在、名誉教授。日本建築学会副会長、会長を歴任。日本建築家協会会長。日本学会協議会会員、こども環境学会会長。

代表作品:愛知県児童総合センター、富山県こどもみらい館、海南省わんぱく公園、兵庫県南但馬自然学校、東京辰巳国際水泳場、茨城県自然博物館など

著書:「子どもとあそび」「環境デザインの方法」「元気が育つ家づくり」など

高橋 勝 (横浜国立大学教授)

横浜国立大学教育人間科学部教授。人間形成論・教育人間学専攻。現在、教育哲学会常任理事、横浜市次世代育成支援行動計画検討委員会委員長等を務める。

著書「子どもの自己形成空間」「文化変容のなかの子ども」「学校のパラダイム転換」「情報・消費社会と子ども」「子ども暮らしの社会史」(共編著)「教育関係論の現在」(共編著)「教育人間学入門」(監訳)など。

司会

木下 勇 (千葉大学教授)

千葉大学園芸学部教授。専門は、住民主体・こども参加のまちづくり。UNESCO GUC(青少年のための都市環境)日本コーディネーター、CYE(子ども・若者の環境)編集委員会理事、国土交通省「若者の地方体験交流支援事業」運営委員などを歴任。

著書:「遊びと街のエコロジー」「まちワーク」「三代遊び場図鑑」「子どもとまちづくり」「まちはこどものワンダーランド」「子どもの参画」「子ども・若者の参画」「ワークショップ 住民主体のまちづくりへの方法論」など

小澤 紀美子 (東京学芸大学教授)

東京学芸大学教授。専門は、住居学、こども参加のまちづくり、環境教育。環境省「中央環境審議委員」、国土交通省「社会資本整備審議会」委員などを歴任、日本環境教育学会会長。

著書:「キッズプレイス 居ごこちのよい子どもの住環境」「まちは子どものワンダーランド これからの環境学習」「子ども・若者の参画 R・ハートの問題提起に込めて」など



参加申込書連絡表

参加ご希望の方は、お名前とご連絡先等を記入の上、事務局宛にFaxまたはメールでご連絡下さい。

当日参加も可能です。参加費は、当日受付でお支払いください。

Fax / Tel : 03-5734-3163 E-mail: info@ children-environment.org

2007年3月21日(水・祝)の こども環境学会 特別シンポジウム「いじめと環境」に参加します	
申込日	年 月 日
お名前	
ご住所	
Tel / Fax	
E-mail	
会員登録状況	非会員 こども環境学会会員
連絡事項など	

『こども環境学会』事務局 連絡担当: 中山

東京工業大学 教育環境創造研究センター 宮本研究室内 〒152-8552 東京都目黒区大岡山-12-1-M1-46